

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

平成31年1月10日（木）

2 確認箇所

- ・ Fタンクエリア
- ・ ガレキ一時保管エリア P 1

3 確認項目

- (1) Fタンクエリアにおける浄化ユニット等の設置状況
- (2) ガレキ一時保管エリア P 1における土砂等の保管状況

4 確認結果の概要

(1) Fタンクエリアにおける浄化ユニット等の設置状況

5・6号機で発生する滞留水については、5・6号機滞留水貯留設備の浄化装置にて放射性物質を除去後、淡水化装置を用いて処理水と塩分濃度が高い濃縮水に分離し、処理水は構内に散水、濃縮水は発生する滞留水とともに再度貯留する運用を行っている。しかし、当該運用を継続した場合、貯留水の塩分濃度の上昇による淡水化装置の稼働率低下などにより、滞留水処理が滞るおそれがある。このため、対策として浄化装置及び淡水化装置を介さず、構内散水ができるよう、放射性物質の除去が可能な浄化ユニットを設置するとともに、中間タンクを設置する計画がある。

今回、浄化ユニット及び中間タンクの設置工事の進捗を確認した。

(前回確認；平成30年8月2日)

- ・ 前回、浄化ユニットの設置予定箇所では試掘作業が行われていたが、本日は基礎工事が完了しており、浄化ユニットの架台の設置工事が行われていた。(写真1)
- ・ また、中間タンクについては、前回、据付が完了し、タンク周りにおいてポンプユニットの設置工事が行われていたが、本日はポンプユニットの設置工事が概ね完了しており(写真2)、配管の敷設工事が進んでいた。(写真3)



(写真1-1)

前回撮影(平成30年8月2日)



(写真1-2)

今回撮影(平成31年1月10日)



(写真 2 - 1)
 前回撮影 (平成30年8月2日)



(写真 2 - 2)
 今回撮影 (平成31年1月10日)



(写真 3 - 1)



(写真 3 - 2)

(2) ガレキ一時保管エリア P 1 における土砂等の保管状況

ガレキ一時保管エリア P 1 では、降雨による流出防止対策のため、シート養生された土砂が保管されているが、ガレキ一時保管エリア C へ搬出する作業が行われていることから、現在のガレキ一時保管エリア P 1 における土砂等の保管状況を確認した。(前回確認：平成 30 年 9 月 20 日)

- ・前回、シート養生され保管されていた土砂は、すべて搬出されており、新たに金属類の廃棄物が保管されていた。(写真 4)
- ・東京電力によると、保管していた土砂は大型土のう袋に収納し、ガレキ一時保管エリア C をシート養生する際に使用する資材として搬出したとのことであった。



(写真 4 - 1)
 前回撮影 (平成30年9月20日)



(写真 4 - 2)
 今回撮影 (平成31年1月10日)



(写真4-3)
写真4-2を拡大

- 5 プラント関連パラメータ等の確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。